日本経済新聞　2011年（平成23年）10月4日（火曜日）

LED蛍光灯 明るさ2倍

反射板開発 消費電力1/4に

クオンタムリープ

無線通信機器製造などのクオンタムリープテクノロジー（塩尻市、小川洋史社長）は発光ダイオード（LED）蛍光灯1本で2本分の明るさを実現する反射板を開発し、販売を始めた。逆さに取り付けたLED蛍光灯の光を効率的に反射し、広い範囲を明るく照らす。消費電力の大幅低減につながるとして、企業向けに売り込む。

新製品「スーパーリフレクター」は真ん中の突起で集光し、光の減退を最低限に抑えながらLED蛍光灯の光を幅広く届かせる。

逆さに取り付けることで、照射幅が狭いLED蛍光灯の欠点を補い、反射板なしのLED蛍光灯に比べて1・5～2倍の明るさを実現したという。価格は1万8000円程度。

従来型蛍光灯を使っていた場合、反射板とLED蛍光灯に置き換えることで消費電力を4分の1程度に削減できる。工場や店舗、倉庫用として企業に売り込み、同社LED蛍光灯と組みあわせて販売拡大を図る。食品などを美しく照らすLED蛍光灯の販売を始めるなど製品群も拡充しており、拡大する需要を取り込む。